

秩父 市議会だより

第13号

発行
秩父市議会
編集
市議会だより編集委員会
秩父市議会事務局
☎ (25) 5224
FAX (24) 2594
URL <http://www.city.chichibu.lg.jp>



《大田公民館》らくらくウォーキング教室風景

歩くことは、ほかの運動に比べて腰やひざへの負担も軽いので、運動不足気味の人でも簡単に続けられます。らくらくウォーキング教室では、健康管理につながる正しい歩き方を学んでいます。

（大田公民館では、主催講座4講座が開講し、9団体のクラブが活動しています。秋には新しい講座も始まります。お気軽にご参加ください。）

正副議長選出

平成20年6月3日



副議長 浅海 忠



議長 高野 幸雄

今定例会において、6月3日に正副議長から辞任届けが提出され、正副議長の選挙が行われました。議長に高野幸雄議員、副議長に浅海忠議員が選出されました。さらに、各議員の常任委員会等所属についても、別表のとおり決定しました。

議長あいさつ

市民の皆様には、当市議会に對しまして深いご理解とご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。

私どもは去る6月定例会において、議長、副議長に選任いただき就任いたしました。その責務の重さを痛感し、身の引き締まるものがあります。旧町村部からの選任であり、円滑な議会運営と、市政発展のために全力を傾注し、その任務に努力いたします。なお一層のご支援をお願い申し上げます。

秩父市も合併して4年目となり、都市と地方の経済格差の広がるなか、財政健全化計画「チャレンジ80プラン」を柱とする改善改革は的確に推進され、秩父市の健全な財政内容が報告されております。

また、未来を担う人を育む学校教育施設の整備についても、吉田中学校、秩父第一中学校が完成し、新たな学び舎で授業が始まりました。今年度は荒川東小学校、高篠小学校・中学校体育館が計画着工、他の小中学校においても順次計画されており、将来への教育環境の基盤整備も進み、市街地都市計画道路整備事業等その他多くの事業が計画、推進されております。

少子化対策についても、子育て支援のことも医療費の支給対象年齢の拡大、妊婦健康診査、超音波検査の公費負担の拡大。

高齢者に対応したスクールバス混乗型市営バス、デマントバスの運行等、合併協約が着実に実行されております。

しかしながら、昨今の石油市場の高騰と、穀物市場の高騰は天井の見えない値上がりを受け、世界の食料危機を迎えております。こうした状況の中、市民生活に大きな影響を及ぼしている厳しい状況にありますが、特に秩父地域発展と、まちづくりにとって重要な時期と考えます。

常任委員会

◎委員長 ○副委員長

委員会名	氏名
総務委員会	◎小 櫃 市 郎 ○宮 田 勝 雄 浅 海 忠 久 喜 邦 康 逸 見 英 昭 金 崎 昌 之 中 村 義 一
建設委員会	◎笠 原 宏 平 ○新 井 豪 出 浦 章 恵 富 田 恵 子 金 田 安 生 高 野 勝 盟 高 野 幸 雄 須 田 博
生活産業委員会	◎江 田 治 雄 ○内 田 修 司 新 井 康 一 坂 本 文 雄 新 井 兄 三 郎 井 上 十 三 男 今 井 武 藏
文教福祉委員会	◎落 合 芳 樹 ○新 井 重 一 齋 藤 捷 栄 福 井 貴 代 笠 原 重 男 高 野 安 之 荒 船 功

議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長

委員会名	氏名
議会運営委員会	◎金崎昌之 ○出浦章恵 小櫃市郎 富田恵子 金田安生 須田博 新井兄三郎 井上十三男

各種委員等一覧

議員番号	氏名																													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
名称・人員	出浦章恵	新井康一	斎藤栄	新井重一郎	新井豪	笠原宏平	落合芳樹	江田治雄	小櫃市郎	浅海恵子	富田貴代	福田安生	金喜邦康	久見英昭	笠原重男	高野勝盟	宮田幸雄	高野修司	内田昌之	金本文雄	坂中村義一				高野安之	荒船功博	須田博	新井兄三郎	井上十三男	今井武藏
広域市町村圏組合	8		○									○			○	○	○								○	○				○
農業委員会	3											○	○							○										
監査委員	1																									○				
地域振興公社評議員	6			○									○	○					○	○							○			
国民健康保険運営協議会	4	○									○															○			○	
民生委員推薦会	2			○			○																							
市立病院運営委員会	1						○																							
青少年問題協議会	1							○																						
都市計画審議会	6				○	○					○						○	○					○							
公有財産審議会	8		○						○	○		○							○		○								○	○
介護保険運営協議会	2				○		○																							
健康づくり推進協議会	1						○																							
景観審議会	3					○	○	○																						

永年勤続表彰

去る4月18日に開催された埼玉県市議会議長会および5月28日開催の全国市議会議長会の各総会で永年勤続表彰が行われ、当市議会は次の方が表彰を受けられました。

「埼玉、全国各議長会

表彰 10年以上」



高野幸雄議員



高野勝盟議員

人事案件

任期満了に伴う、秩父市監査委員の選任について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

秩父市監査委員

荒船 功 (大野原)

6月 定例会

ふるさと納税制度創設

(秩父市税条例の一部改正)・・・承認

夏休み海辺の親子ふれあい子育て支援事業補助金

(平成20年度秩父市一般会計補正予算)・・・原案可決



秩父市議会6月定例会は、6月3日から6月18日までの16日間を会期として開かれました。この6月議会では、市政全般に対する一般質問に16名の議員が登壇し、市政発展のための活発な論議が展開されました。審議した議案は、初日(3日)市長から提出された17件、最終日(18日)に追加議案として1件、議員から提出された4件の議案、合計22件の議案です。他に請願2件、陳情1件が審議されました。

6月定例会会期日程

6月 3日

○開会 ○会議録署名議員の指名 ○会期の決定

○埼玉県及び全国市議会議長会からの表彰状の伝達

○諸報告 ○常任委員会委員の選任 ○議会運営委員会委員の選任 ○秩父広域市町村圏組合の議会議員の選挙 ○農業委員会委員の選挙 ○市長提出議案の報告 ○議案第51号から議案第67号まで一括上程、説明問ヒアリング)

○休会(土曜日)

○休会(日曜日)

○請願・陳情付託 ○市政に対する一般質問

○議案に対する質疑 ○議案の委員会付託

○休会(土曜日)

○休会(日曜日)

○請願・陳情付託 ○市政に対する一般質問

○議案に対する一般質問

○休会(土曜日)

○休会(日曜日)

○委員会

○休会(事務整理)

○委員長報告 ○委員長報告に対する質疑 ○採決 ○閉会

議会日誌

4月 3日

議会だより編集委員会

10日

議会だより編集委員会

14日

東京都荒川区視察来秩

17日

大輪分譲用地対策特別委員会

18日

議会だより編集委員会

21日

有害鳥獣対策等調査特別委員会

23日

議員クラブ連絡会

5月 12日

滋賀県東近江市視察来秩

15日

有害鳥獣対策等調査特別委員会

19日

大輪分譲用地対策特別委員会

6月 3日

議員クラブ連絡会

6日

危険管理・ダム対策特別委員会

18日

各派代表者会議

27日

各派代表者会議

29日

大輪分譲用地対策特別委員会

6月 3日

各派代表者会議

6日

各派代表者会議

18日

各派代表者会議

6月 定例会

審議した議案の結果

議案番号	件名	結果	会派の態度					
			市民ク	自民ク	共産党	公明党	新社会	無会派
第 51 号	専決処分について (秩父市保育の実施に関する条例の一部を改正する条例) 保険料の負担軽減措置のための改正	承認	○	○	○	○	○	○
第 52 号	専決処分について (秩父市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例) 市立病院内秩父デイサービスセンターの廃止に伴う改正措置	承認	○	○	○	○	○	○
第 53 号	専決処分について (秩父市立病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例) 診療報酬算定方法の改定に伴う改正措置	承認	○	○	×	○	○	○
第 54 号	専決処分について (平成19年度秩父市一般会計補正予算 (第4回)) 事業費及び財源の確定による補正	承認	○	○	○	○	○	○
第 55 号	専決処分について (平成19年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算 (第3回)) 事業費及び財源の確定による補正	承認	○	○	○	○	○	○
第 56 号	専決処分について (平成19年度秩父市下水道事業特別会計補正予算 (第5回)) 事業費及び財源の確定による補正	承認	○	○	○	○	○	○
第 57 号	専決処分について (平成19年度秩父市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第3回)) 事業費及び財源の確定による補正	承認	○	○	○	○	○	○
第 58 号	専決処分について (平成19年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算 (第3回)) 事業費及び財源の確定による補正	承認	○	○	○	○	○	○
第 59 号	専決処分について (秩父市税条例の一部を改正する条例) ふるさと納税制度創設等の改正	承認	○	○	×	○	○	○
第 60 号	専決処分について (秩父市都市計画税条例の一部を改正する条例) 地方税法の改正に伴う条文整理	承認	○	○	○	○	○	○
第 61 号	専決処分について (秩父市国民健康保険税条例の一部を改正する条例) 後期高齢者医療制度に関する改正	承認	○	○	×	○	○	○
第 62 号	市道の認定について 大田580号線の認定	可決	○	○	○	○	○	○
第 63 号	市道の路線変更について 幹線7号線、高篠176号線、尾田時372号線ほかの路線変更	可決	○	○	○	○	○	○
第 64 号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について 構成団体の変更による規約変更	可決	○	○	○	○	○	○
第 65 号	秩父市立共同調理場条例の一部を改正する条例 高篠小学校共同調理場の廃止・統合についての改正	可決	○	○	×	○	×	○
第 66 号	財産の取得について 聖地公園用地の取得	可決	○	○	○	○	○	○
第 67 号	平成20年度秩父市一般会計補正予算 (第1回) 夏休み海辺の親子ふれあい子育て支援等のための補正	可決	○	○	○	○	○	○
第 68 号	秩父市監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○
議員提出第 39 号	携帯電話リサイクルの推進を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○
議員提出第 40 号	子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○
議員提出第 41 号	国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○
議員提出第 42 号	ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○
議請第8号	国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○
議請第9号	ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○
市民ク (市民クラブ 14名) 自民ク (自由民政クラブ 6名) 共産党 (日本共産党秩父市議団 3名) 公明党 (公明党 2名) 新社会 (新社会党秩父市議団 2名) 無会派 (会派に属さない議員 1名) ※議長は会派人数に含まれていない。			○ 賛成 □ 賛否 ※賛成人数/会派人数 × 反対					

各常任委員会の動き

総務委員会

◆平成19年度秩父市一般会計補正予算(第4回)所管費目

問 彩の国グリーンツリーリズム総合対策事業費補助金について、どのような使い方となっているか。

答 移住交流事業のためのパンフレット作成、ふるさと回帰フェア参加の旅費、夏場のミュージアパークプールの宝探し委託料、地域振興補助制度の該当事業等に運用されている。

問 携帯電話用鉄塔設備はどの地域に建設し不感解消はできたのか。

答 建設場所は大滝中双里、浦山川又、吉田女形、太田部、阿熊上、阿熊中の6か所で、設置地域の不感解消は100%カバーできた。

◆秩父市税条例の一部を改正する条例

問 今回の市税条例の改正により市税への影響と人格なき社団(多数の人が一定の目的を達成するために結合した法人格を持たない団体)への影響はどうか。

答 平成20年度の市税への影響はないが、平成21年度は市民税収入は下がる見込みである。

また、平成22年度は上場株式の税率が変更されるため、株式配当株式譲渡の関係については微増するものと思われる。

問 ふるさと納税の控除額は、ど

建設委員会

◆平成19年度秩父市一般会計補正予算(第4回)所管費目

問 高篠中学校体育館改築工事は、来年の卒業式に間に合うのか。

答 グラウンドの利用を含め、十分に間に合うよう工事を進めていく。

問 高篠小学校改築工事での授業中の防音について、その対策は。

答 学校関係者・工事請負業者・市教育施設課職員の三者で行う「現場定例会議」で、防音についても適宜対策を講じていく。

◆平成19年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第5回)

○以上2件は、総員賛成で承認。

◆市道の認定について

▽大田580号線(伊古田)

◆市道の路線変更について

▽幹線7号線(太田・伊古田)

▽高篠176号線(山田)

▽尾田蒔372号線(蒔田)

▽荒川上田野46号線(荒川上田野)

▽荒川上田野49号線(荒川上田野)

▽荒川上田野50号線(荒川上田野)

▽荒川上田野133号線(荒川上田野)

問 今回、路線変更する高篠176号線の現場において、半分以上



浦山川侯の携帯電話鉄塔

のようになっているのか。
答 5万円の場合、5万円のうち5千円が自己負担で、残り4万5千円を控除し、その内容は10%が住民税基本控除、残り90%を所得税と住民税でみることになる。
また、所得税の控除されない人は住民税で4万5千円を控除し、所得税率の一番高い40%の人は、所得税1万8千円で、残り2万2千500円は住民税で控除する。
◆秩父市都市計画税条例の一部を改正する条例
問 この条例の趣旨は何か。
答 適用期日によって第1条から第3条に分かれ、主に公園施設等の減額措置が受けられる。
○以上3件は、総員賛成で承認
◆埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について
◆平成20年度秩父市一般会計補正予算(第1回)所管費目
○以上2件は、原案のとおり可決



高篠中学校体育館改築工事の現場



尾田蒔372号線(市道)の現地視察

道路の形状をなしておらず、境界が分かりづらいが。
答 杭はあるが、併せてテープも張り、境界を明確にする。
◆平成20年度秩父市一般会計補正予算(第1回)所管費目
○以上3件は、原案のとおり可決。

各常任委員会の動き

生活産業委員会

◆平成19年度秩父市一般会計補正予算(第4回)所管費目

問 商工費の繰越明許費の中で、秩父ふるさと館改修工事と龍勢広場用地購入事業はなぜ繰越か。

答 ふるさと館は、移転するとなると耐震補強等の問題があり、県と協議した結果、3月中に工事が完了しない事となったため、龍勢広場用地については、地権者との用地交渉、農用地区除外の手続きに日数がかかり、登記が完了しなかったためである。

◆平成19年度秩父市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3回)

◆平成19年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3回)

○以上3件は、総員賛成で承認

◆財産取得について(聖地公園)

問 今迄の経過を説明願いたい。
答 平成19年12月に関係課所で協議し土地の鑑定業務委託及び用地測量を予算計上。2月に土地家屋評価審査委員会、固有財産審議会をへて、3月議会で一億三千万円の予算審議をしてもらい、実測量し面積が確定したので、今回、財産の取得として提出した。

問 既存の建物はどうするのか。土地の利用目的は何か。
答 地主さんが建物を取り壊し今

年度中に更地にして市へ引き渡す予定。利用目的は、公園整備や駐車場等の予定である。

◆平成20年度秩父市一般会計補正予算(第1回)所管費目

問 夏休み海辺の親子ふれあい支援として六百万円計上してあるがこの予算で足りるのか。また、海のない市町村に宿泊した場合は対象にならないのか。

答 柏崎オートキャンプ場廃止により、本年度より補助として小学生の人口約3割分を積算し計上した。場所については範囲をある一定の所で決めておかないと収拾が付かない。今年度の実施結果を見ながらより良い事業にしていく。

○以上2件は、原案のとおり可決

◆国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める請願

◆ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願

○以上2件は、いずれも採択



秩父ふるさと館

文教福祉委員会

◆秩父市保育の実施に関する条例の一部を改正する条例

◆秩父市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例

※従来からのサービスを受けていた人へ、不便が生じないよう運営してもらいたいとの要望があった。

○以上2件は、総員賛成で承認

◆秩父市立病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例

※診療報酬の算定方法の変更の中には、後期高齢者医療制度の包括制や定額制の算定も含まれるので、反対するとの意見が出された。

○挙手多数で承認

◆平成19年度秩父市一般会計補正予算(第4回)所管費目

問 医学生等奨学金貸付事業の減額の理由は。

答 入学時奨学金に2人分、大学生奨学金に1人分の予算を計上したが、応募3人のうち、採用は現役の大学生1人(月額20万円)だけになったため減額となった。

◆平成19年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)所管費目

問 大滝国民健康保険診療所の増収の理由は。

答 受診者が多く、老人医療の伸びも多かったので増収となった。

○以上2件は、総員賛成で承認

◆平成19年度秩父市国民健康保険条例の一部を改正する条例

※この条例改正の主たるところは、特例を定めるところと年金から控除ができることであるが、大変難解である。また、後期高齢者医療制度そのものに、怒りが沸騰していることも事実であるので、反対するとの意見が出された。

○挙手多数で承認

◆秩父市立共同調理場条例の一部を改正する条例

※学校給食の共同調理場方式は、地産地消の観点から好ましくないので反対するとの意見が出された。

○挙手多数で原案のとおり可決

◆平成20年度秩父市一般会計補正予算(第1回)所管費目

○総員賛成で原案のとおり可決



新装された秩父デイサービスセンター

いっぱんしつもん

まちづくり寄附条例の導入

公明党 福井貴代

問 ふるさと納税制度を活用した「ちちぶ夢造り倶楽部」お品書きに、心かよう福祉のまちづくり事業を加える考えは。また、寄附を通じて政策を選択することにより、住民参加型の自治を目指す「まちづくり寄附条例」の導入は。

答 お品書きのメニューに新たな項目として福祉施策を追加するよう検討する。また、仮称「ちちぶ夢創り基金」の創設を考えているが、「まちづくり寄附条例」があれば、市民参加型の政策実現が進むと思われる。ふるさと納税制度との関連性を含め検討していく。



●携帯電話のリサイクル

問 携帯電話のリサイクルについて、現況と取り組みは。

答 携帯電話は指定再利用促進製品に指定され、金・銀など20種類ものレアメタルが使用されているが回収率は下がっている。また、1か月で約300台が不燃ゴミとして回収されている。住民の再利用・再資源化の意識が低く、今後広域市町村圏組合と連携して、広く周知を行っていききたい。

●多重債務相談について

問 多重債務相談の取り組みは。

答 平成19年度の相談件数は55件。市の消費生活相談室では、経験豊富な消費生活コンサルタントが、解決方法の助言や民事法律扶助制度の紹介、弁護士会、法テラス、司法書士会等を紹介している。今後も、苦しんでいる市民の方に、安心安全に相談できる窓口があることを市報やホームページ等で、わかりやすくPRしていく。

教育行政について

市民クラブ 荒船功

問 通学区外からの受け入れ条件は。

答 受け入れ条件は、学期途中や小・中学校の最高学年での転居、住宅の新築完成前の住民票移動、小学生の留守家族、身体的理由や特別な事情により住民票の移動ができない場合、その他、例えばいじめによる等の理由がある場合は就学指定校変更申請して、その理由を妥当と認めた場合。

問 学童保育室・ふれあい学校の現状は。

答 公立学童保育室12か所の合計は定員540人、在室児童数451人、待機児童数22人、待機児童については、学年、世帯、近所に住む祖父母等の状況を勘案、待機をお願いしている。待機児童が多い吉田学童は、小学校と調整し場所の確保と指導員を増員して、待機児童の減少に取り組んでいる。私立原谷学童クラブは、64人の児童が在室している。公立学童保育室との保育料格差は、19年度から保育料の公私格差相当分を保護者に助成している。

原谷学童クラブの運営については原谷小学校区域の児童の安全、



影森の学童保育室

安心、健全化を第一に考え、公立化等を含め十分協議、調整を行う。ふれあい学校12か所の合計は、定員379人在室児童数は351人、待機児童63人で、ふれあい学校は、保護者の勤務等入室条件はないので、申請順になっている。待機児童の多い影森小学校は、学校と協議し、待機児童解消に努めていく。

いっぱんしつもん

浦山ダムの濁り、浦山川の濁り、浦山川流域の総合調査並びに獣害の防止策と水質源対策

自由民政クラブ 今井武蔵

問 右記表題の現状、取組の状況と、細久保芋畑濁水と給水車出動。

答 浦山ダムの濁りは、浦山渓谷全域の山相の状況等で原因不明。浦山地域調査を平成17年度に東向芋畑等5か所と稜線のブナ林の現状、鹿被害等調査。今後も農林振興センターと協議取組検討。浦山川5月19日の濁度6・6、凝集剤注入。細久保等濁水対策は給水2t車10回出動。

市の行政改革の現状とその成果

問 行政改革大綱の取組と成果は。答 合併の17年4月以降、行革大綱を集中的に取組む。行革指針集中プランにより、組織、定員、適化等検討し「チャレンジ80プラン」市組織で実践経費節減の成果。マニフェストは8月に発表予定。

市の一般競争入札改革の現状

問 19年度からの入札改革の成果は。答 透明性客観性により取組。市内の土木、建築業者で約100%の発注済。

市民の声 後期高齢者医療制度

問 本制度施行に市民の不満は多い。制度の改善と現状はどうか。

答 市該当者は、9,103人。人口比12・7%。その内、25%が要介護保険者。市の窓口は保険証発行、保険料収納、市民の問合わせ多く対処。市長は、県市長会経由で、「現状では良くないと判断し」一国に出す。



和銅奉獻1300年記念事業 黒谷の獅子舞

- ◎ 芝桜の総括と対策
◎ 彩の国みどりの基金の活用
◎ 民生委員の現状
◎ 和銅奉獻千三百年事業

旧大宮学校校舎の復元は

新社会党秩父市議団 坂本文雄

問 この校舎は現在の妙見の森公園に建てる計画であったが、「老朽化が激しく多額な経費を要す」との理由で復元が中止になっているが、文化財でもあり由緒ある建物なので復元の考えはあるのか。

答 解体時に復元設計図も作成しており、生徒が学ぶ学校建設終了後、場所も含めて新しい建材にて復元を考える。

旧秩父セメント第一プラント解体は

問 秩父市・セメント・商工会議所の話し合いの内容は。解体前に石綿や埃等の問題があり地元への説明会を行う事になっていたが。

答 三者の話し合いは面積の確認等で具体的な議論はされていない。地元説明会は町会役員から回覧で良いとの事で扱った。

秩父・森の学校の運営は

問 市長の公約として提起されている「森の学校」は子どもたちの環境体験場所として必要であり、インストラクターを含めた対応は。答 荒川の里山・吉田元気村とも連携を取り今年度中に冒険の森と

吉田保育所の解体の中止を

問 現地の診断を行ったが、建物も改修され、設備も旧市内保育所より良い。先生方も使い勝手も良いとの話である。入所児童が増えて年長児の部屋が無く増設の必要があるが考えは。

答 耐震診断を実施し対応を考える。市内他の保育所改修も考える。



吉田保育所

いっぱんしつもん

後期高齢者について

市民クラブ 高野 勝 盟

問 (1) 年齢別の内容について。
(2) その対応について。

答 (1) 75歳以上、9、103人。
要介護認定は2、347人。
65〜74歳、9、153人。
要介護認定者は、317人である。

- (2) ①高齢者支援ハウス ②養護老人ホーム ③在宅訪問介護事業
- ④特別養護老人ホーム ⑤介護老人保健施設 ⑥介護療養型医療施設 ⑦介護付有料老人ホーム
- ①2施設 30床 19人入居
- ②1施設 50床 49人入居
- ③23施設 18床 1、600人
- ④10施設 718床
- ⑤4施設 381床 654人
- ⑥3施設 81床利用
- ⑦3施設 78床 23人利用

●教育について

問 英語と国語教育の充実について。

答 国の方針は数年後からの指導の通達がありました。秩父市では本年度から国語力、英語力の向上に努める。

問 部活動について。

答 平成24年度から武道が必修となるため、柔・剣道の重層式体育館が完成し、屋外にある弓道場を利用して、県、全国大会で活躍中の弓道部の発展こそ急務である。

●観光資源について

問 夜祭りについて。

答 団子坂の曳き上げの他、笠鉦、屋台の見学、花火等全体の充実を図っていく。

問 広報の力点。

答 災害に強い住みよい街である事を対外的に観光の街秩父をPRするのに効果的手段である。



ほのぼのマイタウン

栗原市長に政治倫理を問う

自由民政クラブ 久喜 邦 康

問 4月3日に市長の関連企業が申告漏れとの新聞報道に対し、市長は再三「知らなかった」とくり返した。このことで多くの市民が市長へ疑問を抱くことになった。

現状を市長はどのように考えるか。報道について市報に掲載がない。市民に対し詳細を説明する責任があるのではないか。報道後、昭和工業へ事実を調査したか。市長は昭和工業の株を68%所有した筆頭株主である。この事件で損益を被ったと思う。会社へ異議申し立てをしたか。新聞に示されたように昭和工業からコンサルタント会社への資金の支出はあったか。市民は市長の政治姿勢へ疑問を抱いている。市民への政治的責任は。

答 一連の報道には遺憾だ。これまでと変わらず清廉潔白だ。報道後に昭和工業へたずねたところ、修正申告に応じたとのこと。なんら恥じることはない。政治的道義的責任もない。

●信頼される医療

問 現行のドクターヘリによる患者搬送は運航時間が制約され、搬送先も固定されている。だから、

ドクターヘリと合わせて夜間でもどこへでも搬送できる防災ヘリによる搬送が望まれる。防災ヘリでの患者搬送をどのように考えるか。

答 医師の同乗やヘリポートの夜間照明など課題もある。今後も県へ要望を重ねていく。



防災ヘリコプター

- ◎市職員の専門職養成にむけて
- ◎パブリックコメントの実施にむけて
- ◎特定健診の受診率向上にむけて
- ◎FM秩父の開局について

いっぱんしつもん

にぎわいあるまちづくりに向けて

新社会党秩父市議団 金崎昌之

●路線バスの観光活用

問 西武秩父駅を起点として、尾田時・太田經由吉田元気村行きや和銅遺跡方面など充実してきたバス路線は、これを観光客の誘致へと活用することにより、地域の活性化にいつそう貢献できると考えるが。

答 路線バス情報を観光案内パンフレットや市のホームページに掲載するなど、路線バスを利用し、秩父を周遊していただけるような方策を検討していく。



吉田行きのバス

●「移住のすすめ」の積極的展開

問 団塊世代の大量退職期を迎え、

全国各地で「わがまちへ」と移住のすすめが取り組まれている。秩父では、「ちかいな秩父」をかかげた民間組織がこれに積極的に取り組み、成果をあげている。

市としても、人口減・過疎対策の一つとして、空き家の活用なども視野に入れ、より積極的に「移住のすすめ」を情報発信する必要があると考えるが。

答 いろいろな交流居住施策を展開し、努力している。「ちかいな秩父」等との連携を今後も密にしていく。

●「地域子ども補修学習」について

問 様々な理由により、子どもたちの間に「学力格差」が拡大し、これがまた、不登校・いじめの遠因になっていると考える。教職員OBなど地域の協力を得て、土・日や夏休みなどを使い「地域子ども補修学習」を推進する考えは。

答 すばらしい提言だが、実施するには協力していただく人材の確保など多くの課題があるのが現状。

栗原市長関連企業1億円所得隠しについて

自由民政クラブ 高野安之

問 私は昨年の2月頃、国税局が昭和工業(株)へ税務調査に入ったと言ふ噂話を聞く。当時は県議会選挙の時、時期が時期だけに、いろいろなデマを飛ばすモンだと馬耳東風の姿勢でいた。

今回の新聞、テレビニュース等で国税当局は1億円の申告漏れを指摘、悪質な所得隠しとし重加算税を含め約5000万円を追徴課税した模様だ、との問題を知り、「噂は本当だったか」と思いを新たにしました。

久喜議員の質問に対して、ハッキリと否定し「道義的責任も何も無い。国税当局と見解の相違があった。」と答弁していたが、見解の相違がありながら追徴課税を支払った事実がある。また、その事実が報道された事に対し、秘書と共に配信した時事通信社を訪れ、遺憾の意を表明してきたと答弁しているが、市長として大変不名誉な報道であるにも拘らず、なぜ、名誉毀損として訴えないのか。

答 高野議員の質問には答弁しない。(質問の中で、市長家族の行動に言及する発言があり、動議によって削除される発言の内容も不

明確なため答弁できない。)



◎条例改正議案をわかりやすく
◎「芝桜の丘」75歳以上無料化について

◎住民訴訟の経過を市報で報告について

いっぱんしつもん

消防団ポンプ積載車について

自由民政クラブ 新井 豪

問 合計1億3千万円かけて21台の積載車の入替が行われたが、一部では坂道を走行する際のパワー不足が指摘されている。今後約40台の入替が予定されているが、それらがより改善される為に、また、万が一不具合等があった場合の原因究明の為に、市として「下請業者」まで把握する必要があると思うが、それは可能か。

答 他市の状況を研究し検討する。



入替されたポンプ付積載車

●「学校裏サイト」について

問 いじめの温床となっている

「学校裏サイト」の数は、政府の調査によると、想像以上に多く存在し、内容は深刻である。その存在について市の見解と対策は。

答 交流を深める場としての一面もあるが、ネットいじめが原因で自殺に迫込まれている子供達がいる事実を踏まえると「学校裏サイト」の存在は望ましくないと考える。管理・運営者が特定される場合はサイト削除を働きかけていく。

●市長所有会社の所得隠しについて

問 市民の税金を預かる市長、自らが創設しオーナーを務める会社が「所得隠し」を行い、7年間も「適正に税金を納めていなかった」という事実に対して、適正に納税して頂いている市民の皆様は謝罪する気持ちはないのか。

答 他議員の質問に答えた通り。(道義的責任も無いから謝罪するつもりも無い。)

◎市街地に設置されている防犯カメラについて

◎市立図書館の利用時間について

◎本町・中町通街路整備事業の進捗状況について

遊休農地の活用策について

自由民政クラブ 金田 安生

問 日本の食料自給率は39%と低水準。国も自給率向上に力を入れようとしている。秩父市内の遊休農地と遊休土地の実情と対策は。

答 8月以降に国の実態調査が行われるので、その結果と国の方向を確認し対応したい。また、遊休土地は雑草繁茂などで周辺住民からの苦情もある。都度対応する。

●天然記念物の保護について

問 市の指定した天然記念物は何種類か。保全対策は。また、2006年に外来生物法に指定されたオオキンケイギクの駆除対策については。

答 県と市の指定数は33種類である。所有者に管理委託し保護している。オオキンケイギクは根張りが良く、指定前には傾斜地の工事では着土対策に多用された。今後は除去の対策を講じたい。

●公共下水道について

問 設備が合流式と分流式の併用であり、合流式地区の汚水は雨水と一緒にオーバーフロー分が河川に直接流れ出ている。今後の下水

道計画と合わせ対策が望まれる。また、下水道がゴミ捨て代わりに使われていると聞くが実情は。

答 雨水流入時の処理能力に問題がある。合流式地区の対策や、今後の計画地区について、今年度より見直しに入りたい。また、下水道に想定しないような異物が流れてくる。市報等で適正な使い方を広報していく。



秩父市下水道センター

- ◎運動公園の管理について
- ◎災害復旧工事が遅いのは
- ◎職員の意識改革について

いっぱんしつもん

小児科診療の現況について

日本共産党秩父市議団 出浦章恵

問 市立病院の小児科常勤医師確保の進捗状況は。

答 昨年12月に2人の医師が退職し、本年1月から3月までは、パート医師による平日3日間の診察を行っていた。大学病院や関係機関に何度も足を運びお願いして、4月1日から1人の常勤医師を確保できた。また、大学の医局から小児科医師の派遣を週5日お願いできた。現在、平日の午前中医師2人体制で、また毎月第1火曜日の午後、第2・第4の木曜日の午後は専門疾患の診察を行っている。

問 入院患者への対応は。

答 現在は常勤医師が1人のため、夜間休日等の非常呼び出しに対応できる範囲内での、短期間の入院受入体制は行っているが、重症の場合や長期間の入院を必要とする場合は、大学病院等へ紹介をしている。大学病院からの派遣医師は、曜日ごとに替わるため、特に小児の患者との信頼関係を保つには、継続的に診察できる常勤医師の対応が望ましいと考える。小児科医が全国的に不足する中で、その確保は厳しい状況にあるが、入院対応も可能となるように常勤医師の

確保に努めていきたい。



● 乳癌検診・子宮癌検診について

問 手術後に起こるリンパ浮腫治療への保険適用は。

答 弾性スリーブ・弾性ストッキングは、厚生労働省から通達があり、本年4月から保険適用の対象と認められた。

問 補整下着は保険適用になるか。

答 現在は法律に基づき保険適用外である。

人間ドック補助制度の復活を後期高齢者医療制度について

日本共産党秩父市議団 斎藤捷栄

問 75歳以上の者は、新たな「後期高齢者医療制度」に移行させられたことにより、人間ドックの補助が受けられなくなった。市独自の補助制度についてどう考えているか。また、現在の補助制度でも国民健康保険以外の方で、健康保険組合に補助制度のない場合に補助している制度を準用することにより、補助できるのではないか。

答 後期高齢者医療保険に移行した方については、国民健康保険からの人間ドック助成ができなくなつた。

秩父市としては「元気長寿のまちづくり」政策の推進のため、独自の人間ドック補助制度を検討中である。指摘をいただいた制度の準用を含め、早急に検討を進め、9月議会には新たな独自補助制度を提案できるよう進める。

問 人道的見地からも保険証の取り上げは行うべきでないと思うが、市としてどう考えているか。

答 実施主体は広域連合で、具体的な運用については現在検討中。

問 介護保険関連だが、最近行った「生活機能評価チェックリスト調査」の目的と活用方法は。

答 介護保険1号被保険者のうち介護認定を受けていない方を対象に、国の定めた様式により生活機能の状態を確認するための調査で、その結果により生活機能の衰えが推定される方に、生活機能検査を受診していただき、近い将来介護が必要になるおそれのある特定高齢者を把握し、介護予防事業への参加をお願いするために実施した。



問診風景

◎市長の政治姿勢について

いっぱんしつもん

「理科おもしろ実験教室」の開催

無会派 新井重一郎

の補助が出る。

●生活習慣病予防（メタボ健診）

問 昨年同様、本年も東京理科大学の教員、大学院生の協力で夏休み中に高学年の小学生を対象に「理科実験教室」を開催する。各方面の皆様のご協力をお願いしたい。

答 新学習指導要領でも理数教育の充実が強調されている。大学の協力により開催できるように教育委員会も積極的に応援する。



理科おもしろ実験教室

●後期高齢者医療制度について

問 ①今年度から75歳以上の人間ドッグ費用に国保からの補助がなくなる。どう対応するか。②35〜74歳に対してはどうなるか。

答 ①当市独自の新方式を検討中。②は今まで通り年一回2万8千円

◎後期高齢者医療制度と共に始まった「高齢者担当医」制度について。

●自殺対策について

問 ①年間約3万人、一日平均80〜90人が何らかの理由で自殺している。当市の現状は。②悩んだときの相談窓口の現状は。

答 ①年間約20人程度で推移。②内容に応じた相談窓口多数開設。

問 特定健診、保険指導の受診率を上げるための具体的取り組みは。答 メタボ及びその予備群と診断された人々を対象に症状を三段階に分けて無料で特定保険指導を行う。

問 メタボ予防の手軽で安価な対策は「気軽に歩くこと」。そのために歩道と夜間の街灯の整備が必要。その対策は。

答 現在歩道整備を進めている。街灯の増数は、町会からの設置申請により対応する。

燃料高騰について

市民クラブ 笠原宏平

燃料の急激な価格高騰対策は。

問 市職員が外出するときは、徒歩・自転車にしている。出張等長距離使用の際は、ハイブリッド車等低燃費車を使用し燃料費の削減を図っている。

問 車両の整備管理は。

答 本庁管理の車両は142台、消防管理48台、整備管理者1名、安全管理者11名を選任して、車両及び運転者の安全運転管理を行っている。古い車両では、19年間使用しているもので、費用対効果を考え財務部・管財課で慎重に協議し、買い替えを検討している。基本的な考えとして車両台数は増やさないことにしている。



●ホンダ寄居小川新工場

問 ミューズパークにホンダのモビリティ・アイランド施設を誘致してはどうか。

答 ホンダ社員の方々に適地、モビリティの考え方を聞きながら、誘致を視野に入れながら研究していく。

●滝沢園地マウンテンバイク推進について

問 事業主体は何処になるのか。答 設置は秩父市が主体で行う。運営は地域のNPO・公共団体・ノウハウを持った団体等を考えている。世界大会が開催可能なコースが出来るよう研究する。

問 事業開始はいつになるのか。

答 大滝地域の活性と若者の活躍できる場所として来年春のオープンを目指して整備を進める予定。

問 滝沢園地センター棟をマウンテンバイク入場者が利用できるか。

答 景色を見に来る人々とマウンテンバイクの人々がそれを共有できるような考え。

いっぱんしつもん

公衆トイレの非常ベルについて

日本共産党秩父市議団 新井康一

問 きれいな公衆トイレが増えてきたが、障害者用トイレに付いている非常ベルはどこかに通報が行くようになっていないのか。

答 市内に非常ベル設置の多目的トイレは48か所。通報体制は無い。緊急連絡先を掲示したい。

問 ベル音に気付き駆けつけても音の止め方がわからないが。

答 今後対応を検討したい。

問 通報体制の確立についてどのように考えているのか。

答 関係機関と協議しながら危機管理体制を検討したい。

●貝で浦山ダム湖の浄化と観光を

問 濁水対策で20億円もかけた清水パイパスは昨年の台風で取水口付近に土砂が堆積して取水不能となり、応急処置で対応。また大雨で増水すると機能しなくなると予測されるが、今後の対応は。

答 当面は、状況を監視しつつ調査検討をするという。

問 イケチヨウガイという淡水の2枚貝は1個が1日に2百リットルの水を浄化する能力があるとい、これで水質浄化に取り組んで

いる所もある。また、淡水真珠の母貝ということでも知られている。この貝を使って、水源地域の濁水浄化のイメージアップPRと「秩父ブランド」の淡水真珠を観光資源にしてはどうか。その可能性と法的問題は。

答 実証実験で実績をあげている例もある。河川法では問題は無いが生態系への影響など、浦山ダムでは慎重に検討したい。



浦山ダム

◎公会堂等の水道を無料に

市長の政治倫理条例の制定について

自由民政クラブ 中村義一

問 市長のオーナー会社である、昭和工業(株)の所得隠しの問題にかんがみ、市および市に關係する第3セクターも含め、請負契約、業務の委託、物品の購入契約等に、市長、その配偶者、もしくは2親

等以内の親族が役員をしている法人または、市長が実質的に経営に携わる法人は、地方自治法142条の規定の趣旨を尊重し、市と、

もしくは、市の出資法人との間の工事、製造その他の請負契約、業務の委託契約または、これらの契約の下請けに関する契約を締結してはならない、という内容を含んだ、市長政治倫理条例の制定をすべきだと思うが市長の考えを問う。

答 その方向で年度内を目途に検討したい。

●第3セクターの見直しについて

問 第3セクターの経営業務、業務委託の状況、事業の必要性と効率性、市の関与、第3セクターのあり方、職員の転籍、人事の適正化等についてその取組みを問う。

答 経営業務のあり方については、総務省の第3セクター見直し指針

に基づき議会に報告する。業務委託については、公民協調を推進する事業を中心に市民への情報提供を進め、透明性を高めたいと考えている。

また、各団体の役職員の選任については、業務に精通した職員OBを登用している。

職員の転籍については、柔軟に対応出来るように検討したい。



秩父観光機構が運営している道の駅ちちぶ

各特別委員会報告

危機管理・ダム対策特別委員会

平成20年3月定例会後、6月定例会までの2回の委員会について報告する。

第18回委員会（4月21日）

この委員会は、荒川への濁水に対する「浦山ダム清水バイパス」の現地視察として、「バイパス」の取水口及び放水口の視察を行い、次回開催の委員会への対策とした。

第19回委員会（5月19日）

この委員会では、市当局及び荒川ダム総合管理所の関係者の出席のもと審議した。

浦山清水バイパスについては、浦山ダムの貯水は市民の命であり、その放水濁度による橋立浄水場への影響はないわけではないと思うので、水の影響について、きちっとした資料の提出をお願いしたいとの意見が出された。

次に、浦山ダム下流への土砂還元については、影森の柳大橋の下の土砂については5年間位積みっぱなしになっているが、方策はあるのか。との質問に対し、河川の管理は県土整備事務所が管轄なので申入れを行った。また、荒川全体の再生につ

いて、埼玉県事業として、秩父市に1か所「水辺の再生事業」が予定されており、本年度は調査設計を予定されている。

次に、滝沢ダム国道140号線亀裂箇所について今回の崩落は原因不明のようだが、全体的な調査の実施についてどう考えているか。

との質問に対し、現在も目視等により毎日調査を実施している。また、水資源機構に対し住民の安全確保と調査の申入れをしたい。

今後とも当委員会は閉会中の継続審査に付すべきものと決定された。



浦山ダム

有害鳥獣対策等調査特別委員会

【第13回委員会】（4月18日）

市当局の出席を求め、環境農林部林業振興課の決算見込みと、有害鳥獣の捕獲状況について報告を求めた。

この中で、浦山の細久保林道上流部において、皆伐した公社林に植栽を行ったが、シカの食害があるため、防護ネット（高さ1・8メートル、総延長1,875メートル）を設置したことが報告された。

さらに、委員の質問に答えて、食害による立ち枯れのため山に保水力が無くなり、大雨時に土砂の流出を引き起こし、これによって水道水が濁り、近隣住民の生活に支障をきたしていたが、防護ネットを設置して防除したことで解消されたとの説明がされた。

この説明を受けて、次回委員会で当該ネット設置箇所の現地調査を行うこととした。

【第14回委員会】（5月15日）

浦山の細久保林道上流部に設置された、シカの食害を防護するためのネットの現地調査を行った。

現地調査後、本委員会の今後

の課題について、意見の取りまとめを行った。

この中では、市内だけでなく秩父広域で被害状況の把握が必要とする意見や、対策についても広域で連携してこれにあたる必要があるとの意見があった。さらには、埼玉県や他県との情報交換も必要とする意見が出された。

本委員会は、なお調査研究の必要を認め、特定事件として閉会中の継続審査に付すべきものと決定した。



影森地区に現れた猿

各特別委員会報告

大輪分譲用地対策特別委員会

平成13年度から、旧大滝村において高齢化現象が進む中で若い人に住んでいただく対策として「過疎地域集落再編整備事業」にて国庫補助金1,163万1千円と過疎対策事業債1,160万円の計2,323万1千円の補助を受けて、大滝大輪地区内に分譲用地造成事業を実施した。実施に当たり分譲地が傾斜地である等ことから、造成経費がかさみ近隣の地価との釣合が取れなくなり、土地の有効活用の方法を検討することを目的に、3月定例会において設置された。特別委員会は、3月24日、4月17日、5月15日・29日の4回開催し、市営住宅として活用、山間部に住んでいるお年寄りの一時的な宿泊施設、大滝温泉を利用したりハビリ施設等の利用等、公的施設の設置についても審議したが、分譲地計画としての補助金であり、他の目的に変更すれば補助金は返還となり、施設建設にも多額な経費がかさむこととなり、市としての損失は更に拡大する。

宅地分譲を行う場合は、旧大滝村の定住化促進にも合致する



大輪分譲用地

し、補助金も返還の必要がなくなる。
販売価格の設定には、造成事業費等を考慮するとともに、当地の鑑定評価を調整したうえで、新たな価格を設定する。大滝地区に居住する方の住居建設支援に大滝地区居住者が購入する場合は、優遇措置を設けることを答申して、当特別委員会を終結した。

請願・陳情

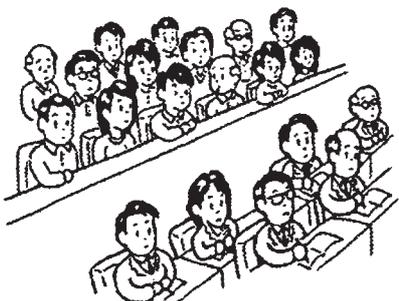
6月定例会に提出された請願は2件です。この請願は、いずれも生活産業委員会に付託され、慎重審査の結果、次のとおり決定しました。

また、陳情については1件提出されました。

請願の内容		
付託委員会	請願名	結果
生活産業委員会	国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める請願	採択
生活産業委員会	ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願	採択

陳情の内容	
要旨	陳情者
秩父市営第一弓道場移転方について	滝の上町会 町会長 高野 東征 外3名

市議会を傍聴してみませんか



市議会は、毎年3月、6月、9月、12月の4回の定例会と必要に応じ臨時会が開催され、市民の皆さんに直結した議案・請願等を審議します。

市民の皆さんが選んだ代表がどんな活躍をしているか、市議会を傍聴してみませんか。

※次の定例会は**9月3日**開催予定です。

意見書の提出

6月定例会の最終日の本議会において、議員提出議案の意見書4件が提出され、審査の結果、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。

内容については次のとおりです。

【意見書】

○携帯電話リサイクルの推進を求める意見書

○子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書

○国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書

○ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書

携帯電話リサイクルの推進を求める意見書

- 1 携帯電話の買い替え・解約時においてユーザーに対して販売員からリサイクルの情報提供を行うことを定める等、携帯電話の回収促進のために必要な法整備を行うこと。
- 2 携帯電話ユーザーに対する啓

発、携帯電話回収促進につながる企業・団体の取り組みを支援する施策を行うこと。

3 ACアダプター等充電器の標準化や取扱説明書の簡略化等による省資源化を実現すること。

4 レアメタルなどの高度なリサイクル技術の開発に加え、循環利用のための社会システムの確立を目指すこと。

5 個人情報保護に配慮したメモリー消去法やデータ移行、バックアップツールの整備を行うこと。

子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書

1 子宮頸がん予防ワクチンの早期承認に向けた審査を進めること。

2 女性の一生においてHPV感染の可能性が高いこと、また予防可能ながんであることをかんがみ、予防ワクチンが承認された後は、その推進を図るために接種への助成を行うこと。

3 日本におけるワクチンの開発、製造、接種のあり方に関し、世界の動向等も考慮し検討を進め、必要な対応を行うこと。

国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書

- 1 森林吸収源対策を着実に推進するため環境税等税制上の措置

を含め安定的な財源を確保するとともに、林業・木材産業の振興施策の推進と森林所有の負担軽減措置を講ずること。

2 緑の雇用対策等森林・林業の担い手対策の拡充、施業の集約化、路網の整備等による効率化、安定的な木材の供給体制の確保、更には木材のバイオマス利用の促進等により間伐材を含む地域材の需要拡大対策の推進による地域林業・木材産業の振興を図ること。

3 計画的な水源林造成事業を含めた公的森林整備を推進するための組織体制の確保及び施業放棄地等民間による森林整備が困難な地域における国の関与の下の森林整備制度の創設を図ること。

4 国有林野事業については、国民共有の財産である国有林を適正に管理するとともに、公益的機能の一層の発揮を図るため国による管理運営体制の堅持及びその管理運営を通じて地域における森林・林業担い手の育成と地域活性化への寄与を図ること。

ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書

ミニマムアクセス米の輸入を一時中止し、制度の見直しをWTO交渉の場で強力に働きかけるよう強く要望する。

編集後記

この冊子が皆さんのお手元に届く頃は、夏本番でしょうが、これを記している今は梅雨の6月中旬です。5月の中国四川省での大地震に続き、今また日本で岩手・宮城内陸地震が発生し、大きな被害が報道されています。地球が壊れてしまうのではないかと言った漠然とした不安を感じるのも私ひとりではないでしょう。異常に進行する地球温暖化現象など、地球が悠久の時間の中で作り上げてきた生命維持装置を、いとも簡単に破壊している現実にも怖れを感じます。また一方では秋葉原における無差別殺人事件などに象徴されるような人間の心の痛み、破壊も残念ながら確実に進んでいるようです。

酷暑の頃、地球と人間を愛しながら、ご自愛下さい。

編集委員

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 斎藤 捷栄 |
| 副委員長 | 坂本 文雄 |
| 委員 | 新井 重一郎 |
| 〃 | 新井 重一郎 |
| 〃 | 富田 恵子 |
| 〃 | 荒船 功 |